

令和6年東成瀬村議会定例会（第8回12月定例会議）行政報告

第8回12月定例会議に当たり、第7回9月定例会議以降の村政の報告と今後の運営方針について申し上げます。

（総務課所管）

1 秋の叙勲について

令和6年秋の叙勲において、前村議会議員の佐藤正次郎氏が、旭日双光章の栄に浴され、11月5日に県正庁で勲記が伝達されました。

また、村内関係者では、保護司として長年活動されている永伝寺住職の武藤直哉氏が瑞宝双光章を受章されております。

永年にわたる御尽力と御功績に対し深甚なる敬意を表し、心よりお祝いを申し上げます。

2 災害協定の締結について

10月8日、東北電力ネットワーク株式会社横手電力センターと「災害時の協力に関する協定」を締結しております。同社とは平成20年に本協定の前身となる覚書を交わしておりますが、新たに災害の未然防止に向けた相互協力として支障木の事前伐採に関する項目を加えた協定となっております。

今後、双方が役割を分担しながら、事前伐採を着実に実施していくことで、停電発生など災害の未然防止につながると考えております。

3 中央要望会について

11月14日と15日、村と村議会合同で中央要望会を実施しております。国会議員及び国土交通省・総務省・財務省の幹部職員を訪問し、地方交付税の拡充、成瀬ダム事業の早期完成、雪対策経費と7月の大雨災害に対する支援に関する要望を行ってまいりました。

4 全国町村長大会について

11月20日、東京都渋谷区NHKホールにおいて、全国町村長大会が開催され出席してまいりました。大会には、全国926の町村長、都道府県町村会関係者及び来賓の額賀衆議院議長、長浜参議院副議長、村上総務大臣、渡部全国町村議会議長会会長、岸田前内閣総理大臣など約1,500名が出席しました。

今大会では、政府に対する緊急決議1件、特別決議1件、通常要望35項目、

重点要望 12 項目をそれぞれ採択しており、詳細につきましては、全国町村会ホームページで御確認願います。

5 令和 7 年度当初予算編成方針について

令和 7 年度当初予算は、中長期的な財政健全化の取り組みを継続しつつ、持続的かつ構造的な賃上げの実現、官民連携による投資の拡大、少子化対策・こども政策の抜本的強化など重要政策課題の解決に向けて、引き続き国・県の施策等と連動して取り組んでまいります。

また、令和 7 年度は第 5 次東成瀬村総合計画の最終年度を迎えることになり、目標達成に向けて取り組むことは無論ですが、次期計画に向けた問題や課題の洗い出しと検討を行う段階であることから、令和 6 年度までに実施している事業の評価を行うとともに、これまでの実施内容を分析し、改善すべき点については可能な限り予算化してまいりたいと考えております。

6 一般寄附金について

明治安田生命保険相互会社秋田支社湯沢営業所様から 70 万 3,600 円の御寄附がありました。主に健康づくりや子育て支援のための財源として有効に使用させていただきたいと考えております。

7 職員採用試験の状況について

本年度における一般行政職採用試験は、1 回目は 1 名の応募、2 回目は応募なしで、現在のところ最終合格者はいない状況となっております。3 回目は 2 名の応募があり、いずれも第 1 次試験を合格しており、12 月 24 日に第 2 次試験を実施する予定としております。

8 第 36 回首都圏なるせ会総会について

11 月 16 日、東京都台東区の浅草ビューホテルを会場に、第 36 回首都圏なるせ会通常総会が開催されました。今回は 105 名の参加となり、同郷の仲間が一堂に会し、会話も一層弾んでおりました。

9 消防防災関連について

11 月 10 日、大仙市の大曲の花火公園を会場に、水防工法講習会が開催されました。これは、来年 5 月 25 日に大仙市を会場に開催が予定されている雄物川総合水防演習の事前練習を兼ねて実施されたものであり、本村から 17 名の消防団員が参加しております。

また、11月28日には、防災情報センターにおいて自主防災組織研修会を開催しております。今回は、秋田地方気象台職員を講師に活火山と防災に関する講話を行っております。

(企画課所管)

10 秋田県・市町村協働政策会議について

11月25日、秋田市において令和6年度第2回秋田県・市町村協働政策会議総会が開催されました。

今回の総会では、秋田県市長会から、災害に対する即応力を高めるために職員研修の充実と災害廃棄物仮置場確保の連携強化を推進するために「災害廃棄物の円滑な処理に向けた連携強化」が提案され、全会一致で承認されました。

11 ふるさと納税について

ふるさと納税は、11月末現在で2,808件、2,381万3,000円の寄附があり、前年度同期に対し、件数で723件、金額で757万9,000円の増となっております。年末に向け、引き続き返礼品の周知を図りながら、村内の農産物等の消費拡大と村のPRに努めてまいります。

企業版ふるさと納税については、企業とのマッチング支援業務を東成瀬テックソリューションズ株式会社に委託しており、11月末現在で寄附見込企業が4社、1000万円が見込まれております。

12 秋田栗駒リゾート株式会社について

栗駒山荘は、11月5日で今シーズンの営業を終了しております。今年は、例年より早期に営業を開始できたこと、昨年に比べ、大規模改修の影響が比較的少なかったことに加え、秋の紅葉ピークの天候にも恵まれたことなどから宿泊利用者が増加し、累計の売上げは、前年に比べ約2,100万円の増となっております。

一方、入浴やレストランなどの日帰り利用者は、昨年に比べ約5,000人の減少となっております。登山の主要コースが閉鎖されたことによる登山利用者の減少や燃料価格の高騰により、車での日帰り観光客が減少したことなどが要因と考えております。

ホテルブランは、従業員不足による縮小営業を11月16日から通常営業としており、ジュネス栗駒スキー場は、12月20日に安全祈願祭、21日にプレオープン、28日にグランドオープンの日程で準備を進めております。

また、今シーズンは、スキー場とホテルブランの集客支援を東成瀬テックソ

リューションズ株式会社へ委託し、売上げ向上の新たな施策を展開していく予定となっております。

1 3 東成瀬テックソリューションズ株式会社について

1 2 月 2 日、役場応接室において、第 3 回定時株主総会が開催されました。第 3 期決算の承認、増資に関する件、株式譲渡に関する件が提案され、すべて承認されております。

第 3 期決算では、当期純利益が約 1 2 万円の黒字となっております。また、増資に関しては、将来的に資本金を 5 0 0 万円から 1, 0 0 0 万円にしたいということでありました。株式の譲渡については、なるテックの持ち株会社として「むらテックホールディングス株式会社」を設立し、近藤社長が保有する株式を当該会社に譲渡するものであります。

また、1 2 月 1 6 日、あきた芸術劇場ミルハスにおいて、「なるテックフェスティバル 2 0 2 4」の開催が予定されており、決算報告や経営方針の発表のほか、地方創生・地域の課題解決・秋田の発展というテーマで実践してきたプロジェクトについて、これまでの取り組みや成果を発表する分科会が企画されており、多くの皆様の御参加を期待しているところであります。

1 4 村長タウンミーティングについて

1 0 月 5 日、なるせつ子夢センターにおいて、読みかたりグループ「つくしんぼ」の皆さんと「生涯にわたって本と親しむ文化を、子どもたちだけでなく村人にも届けたい」というテーマでタウンミーティングを行いました。

参加された皆さんからは、利用しやすく魅力的な施設となるよう設備や設置場所等の検討、司書の配置についての要望がございました。今後、より使いやすい施設となるための参考にさせていただきたいと考えております。

1 5 小水力発電調査について

丸紅株式会社のグループ企業である三峰川電力株式会社から村内における小水力発電の可能性について調査したいとの申入れがございました。合居川と小五里台松ケ沢の流量等を 1 年ほどかけて調査するものであります。

S D G s やカーボンニュートラルを推進するためには、再生可能エネルギーの開発が重要な政策と考えており、地域住民や関係者への理解を得ながら調査を進めるようお願いしたところであります。

(住民生活課所管)

16 東成瀬村安全を守る女性の会の解散について

10月3日に東成瀬村安全を守る女性の会総会が開催され、会員の高齢化や共働き世帯の増加などにより、支部の活動が困難となっている地域が多いことから、今回の総会をもって解散し活動を終了するとの報告がありました。

人口減少、生活スタイルの多様化が背景にある判断と思われますので、受け入れる必要があると感じたところであります。

(健康福祉課所管)

17 雪下ろし等支援事業について

要支援者世帯等に対する雪下ろし等支援事業につきましては、11月6日に各地区自主防災組織等の関係者と打合せ会を開催し、各事業内容についての協議を行っております。

同時に雪下ろし作業時における活動員の安全対策や配置状況の確認と空き家を含めた雪害等の情報提供を関係者にお願いしたところであります。

18 第51回東成瀬村社会福祉大会について

11月9日、第51回東成瀬村社会福祉大会が地域交流センターゆるるんで開催されました。功労者表彰、小中学生の意見発表に続き、講演会が行われ、改めて、地域住民が安全・安心に暮らし続けることができる地域共生社会の実現を目指す大会となりました。

また、終了後は5年振りにたすけあいチャリティショーが開催され、出演者の熱演により盛況となりました。

19 東成瀬村いのちを考える集いについて

11月29日、東成瀬村いのちを考える集いが、地域交流センターゆるるんで開催されました。秋田大学自殺予防総合研究センター宮本特任助教による村内アンケート分析結果に関する講演のほか、読みかたりグループ「つくしんぼ」によるアトラクションが行われました。

今後も東成瀬村のぞみの会を始め関係団体との連携を図りながら、自殺予防対策に取り組んでまいります。

20 新型コロナワクチン接種について

現在、秋田県では、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を防ぐため、ワクチン接種の推進、基本的な感染対策等の徹底を呼びか

けております。

今年度から、新型コロナワクチン接種は65歳以上の方等への定期接種となりましたが、村では10月1日から希望する方々へ接種費用の助成を開始しており、引き続き、ワクチン接種による感染対策を進めてまいります。

(産業振興課所管)

2.1 農地・農業用施設の災害復旧について

7月に発生した豪雨災害により被災した農地及び農業用施設のうち、復旧工事等が必要となっている箇所については、現在、設計等を進めております。

国庫補助災害復旧事業の対象となる平良地区の農地災害については、10月31日に災害査定が行われ、査定率100%で事業費決定となりました。今後は補助率増高審査等の手続を経て、3月に交付決定の見込みであります。

馬場地区と戸間地区の法面崩落箇所についても、工事発注に向けて準備を進めており、いずれの工事も年度内に発注し、翌年度早期に着工できるよう進めてまいります。

事業費が40万円未満の小災害復旧支援事業については、滝ノ沢地区と間木地区の復旧事業は完了しており、平良地区については国庫補助災害復旧事業と関連するため、翌年度に実施する予定としております。また、小災害復旧支援事業に該当しない小規模な農地等の復旧や営農継続に向けた支援を目的とした県単独の補助事業「農業経営等復旧・継続支援対策事業」が創設されたことを受け、村としても協調助成を行う方針であり、本定例会議に補正予算を計上しておりますので、よろしくお願いいたします。

2.2 水稻の作柄状況について

国が発表した10月25日現在の都道府県別作況指数において、秋田県は「やや良」の「102」となっております。5月以降、おおむね天候に恵まれ、平年以上にもみ数が確保できたとの分析です。

一方、JAこまちの報告によると、本村の出荷契約数量に対する出荷率は、83.5%で、昨年に比べ減少しております。田植から7月中干し時期までおおそ順調な生育が見られたものの、7月中旬以降の大雨等が影響し、収量が減少した可能性があるものと見ております。一等米比率は89.0%と昨年をやや下回り、湯沢雄勝管内の平均89.5%と同等の比率となっております。

2.3 青果物等の状況について

夏秋トマトは例年並みの出荷量でスタートしたものの、8月下旬から花落ち

等により落ち込みました。販売は終始高単価で推移し、終盤には麗月の出荷量も増加しましたが、出荷量の減少が大きく、販売金額は前年を下回る結果となっております。

リンドウについては、高温による病虫害被害等が影響し、出荷量が大きく減少したことから販売金額も前年を下回りました。そのほか、トルコギキョウ、インゲン、枝豆、ねぎも出荷量・販売金額ともに前年を下回っております。

露地いちごの販売は順調に推移し、出荷量・販売金額とも前年を上回りました。四季なりイチゴは土壌病害の影響で収量は減少しましたが、献身的な管理により秀品が出荷され、販売額は昨年を上回っております。

きゅうりは昨年よりも作付が拡大し、アスパラガスについては生産者が増加したことなどから、出荷量・販売金額ともに前年を上回っております。

昨年に続き異常気象の影響で、栽培管理に苦慮した年となりましたが、今後更なる品質向上と販売金額増加に期待したいところであります。

2 4 地域計画について

農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画については、村内7地区での話し合いを経て、11月末までに全地区における計画の策定が完了しております。

今後は地域の農業者等と連携しながら、策定した地域計画の目標達成と、各地区での話し合いにより明らかになった農業や農地を取り巻く課題の解決に向け、取り組んでまいります。

2 5 産業祭・種苗交換会について

10月25日と26日の2日間、村民体育館を主会場に第57回東成瀬村産業祭を開催しております。今回は村芸術文化協会の御協力を頂き、羽後町から仙道番楽、由利本荘市から猿倉人形芝居の2団体をお招きし、会場を大いに盛り上げていただきました。今後も工夫を凝らしながら、より良い産業祭を計画してまいりたいと考えております。

また、農産物等の出品数は前年度に比べ39品の増加となりました。猛暑や大雨といった厳しい気象条件ではありましたが、厳選された出品物は審査員から高い評価を頂いております。

11月1日から11月5日まで鹿角市で開催された第147回秋田県種苗交換会において、本村から1名1団体が入賞となりました。これは、本村の農産物及び加工技術が高く評価されたものであり、今後も大いに期待するところであります。

2 6 栗駒山荘大規模改修事業について

令和3年度に着手した大規模改修工事は、令和6年9月をもって全ての工事が完了しております。長期間にわたり利用者の皆様には大変御不便をおかけしましたが、来シーズンからは、より快適に御利用いただけるものと期待しております。

(建設課所管)

2 7 公共土木施設の災害復旧について

7月9日の大雨で発生した国道397号の法面崩落箇所については、県の災害関連緊急治山事業により復旧工事が行われる予定となっており、来年2月下旬に本工事が発注される見通しとなっております。

また、7月下旬の大雨で発生した国道342号谷地天江会館付近の土砂崩れについては、来年3月に工事が発注される見通しとなっております。

2 8 建設関連事業について

村の建設事業につきましては、村道滝ノ沢平良線舗装補修工事等の通行止めや片側交互通行により、皆様には大変御迷惑をおかけしましたが、順調に工事は進ちょくし、本格的な降雪前に通行が可能となっております。

また、7月下旬の大雨による土木災害復旧工事については、村道不動沢線道路災害復旧工事と土倉沢河川災害復旧工事を発注しており、その他の土木災害復旧工事についても、補助事業を含め事業着手に向け進めてまいります。

2 9 冬期交通対策について

11月27日、防災情報センターにおいて除雪会議を開催し、今冬の除雪事業計画を関係者で確認しております。

気象庁が10月24日に発表した3か月予報では、東北日本海側の平均気温は、ほぼ平年並みの見込みで、降雪量は平年並みか多い見込みとされておりますが、常に豪雪を念頭に除雪体制には万全を期し、冬期間における交通の確保に努めてまいります。

3 0 ジュネス栗駒カントリーパークについて

11月6日に今シーズンの営業を終了し、パークゴルフ場の利用者数は5,640人で、前年度と比較して579人の減となりました。7月下旬の大雨による影響もありますが、月々の利用者も減少しており、利用者の増加に向けた対策が必要と考えております。

3 1 成瀬ダム事業関連について

11月20日に、堤体打設工事におけるCSGの打設が完了し、CSG打設完了式が挙行されました。これにより堤体打設工事の進捗率は約98パーセントとなっております。

一方、今年度の成瀬ダム見学者数は、11月末時点で2,553人と、ダム工事のピークを過ぎたことから、見学者数は減少したものの、依然としてダムへの関心の高さがうかがえる状況となっております。

また、10月26日には成瀬ダム秋の見学会in第57回東成瀬村産業祭を、国と村が共同で実施しております。見学会に参加された方からメモリアルストーンにダムやこの地域への思いを記入していただき、CSG打設完了式においてダムの堤体材料として埋設しております。

来年度も引き続き、成瀬ダム工事事務所と連携し、広報及び地域振興活動を推進してまいりたいと考えております。

本定例会議には、報告1件、条例案2件、議決案1件、契約案2件、予算案6件の計12件を提出いたします。何とぞ、全議案可決くださいますようお願い申し上げます。（了）